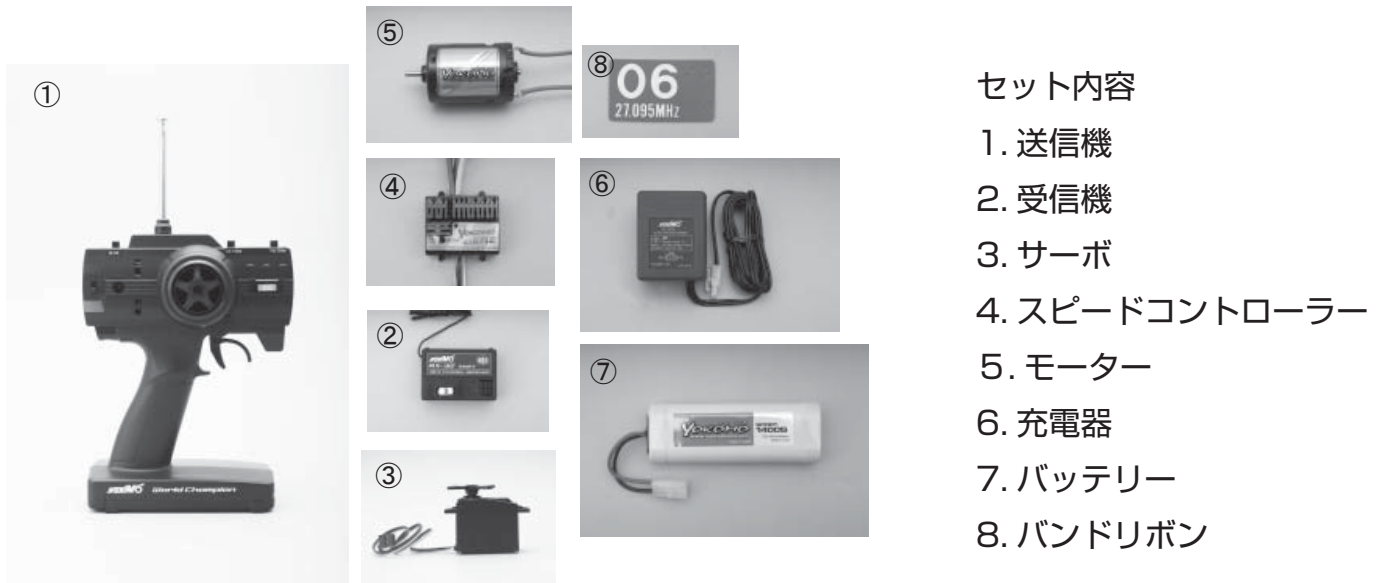


ドリフトパッケージ・ランニングセットを お買い求め頂きまして有難う御座います。

お買い求めになりました組立てキットの説明書に従って、シャシーに搭載してご使用下さい。



●RCメカ（プロポ、受信機、サーボ、スピードコントローラー）

送信機に付属のアンテナを取り付け、単3乾電池 8 本（別途購入）を入れてからご使用下さい。

サーボはシャシーに搭載する前にニュートラル調整を行います。

スピードコントローラーの調整は 3 ページの SCR6712 の取扱説明書を参照してください。

●モーター

セット付属のモーターはドリフトマシン専用開発しました CLUB SPORTS MOTOR がセットされております。

テクニクが向上しスピードアップを求めるファンに応えるハイパワータイプの D19 ターンもオプションでご用意しております。

●バッテリー&AC 急速充電器

セット付属のバッテリーはニッカドバッテリー 1400mAh になります。走行の際は充電してからご使用下さい。

充電の際は急速充電器にバッテリーを接続してから、充電器を家庭用コンセントに差し込み約 55 分で終了します。

充電終了後はまず充電器をコンセントから抜いてからバッテリーを外して下さい。

※充電時間に関わらず、バッテリーが発熱し高温になるようでしたら直ちにコンセントから外して下さい。

※安全の為、充電器、ニッカドバッテリーの取り扱いに関しましては、各付属の使用上の注意に従ってご使用下さい。

万が一困りの点が有りましたら

株式会社ヨコモ アフターサービス部

TEL 03-5613-7553 FAX 03-5613-7552

E-Mail support@teamyokomo.com までお問い合わせ下さい。

◆RC メカ搭載の際にキット組立て説明書 (P.12、24) と照し合わせてご覧ください◆

プロポ (送信機) の取扱いについて

アンテナを必ず取り付けてからご使用下さい。

アンテナは全段伸ばしてご使用下さい。

電源を入れるときは必ずアンテナを取り付け、全段伸ばしてからプロポの電源スイッチ ON、次に車の電源を ON にします。走行後、電源を切る時は「先に車側を OFF にしてからプロポ」の順で行って下さい。手順を間違えると車が暴走してしまい大変危険です。

バンドプレートは切り込み部にプロポのアンテナを通して取り付けて下さい。

※走行前の注意※

仲間と走らせる際、もしくは他に走らせてる人がいた場合、自分のプロポの電源は入れず相手の方のバンド周波数を確認して下さい。もしも周波数が同一の場合、混信してしまい大切な RC カーが、暴走する恐れがあるため大変危険です。安全のため必ず確認してから走行させて下さい。

プロポの電池交換の目安ですが、プロポの赤い LED が暗くなったり、サーボやスピードコントローラーの動作が不安定になるようでしたら交換して下さい。安全の為、早めの交換をお勧め致します。また電池はアルカリ電池のご使用をお勧め致します。

バンド周波数交換の際は、Futaba 製 AM 用 27MHz 帯クリスタルセットをお買い求め下さい。

プロポの詳細



◆キット組立て説明書 P.12 と照し合わせてご覧ください。◆

サーボのニュートラル調整及びスピードコントローラーの設定時の接続方法

サーボのニュートラル調整はシャシーへ搭載する前に行います。

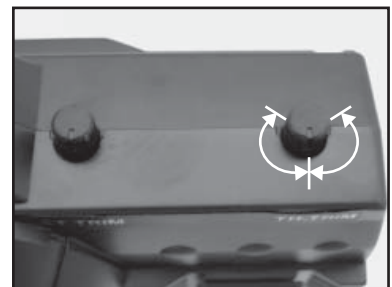
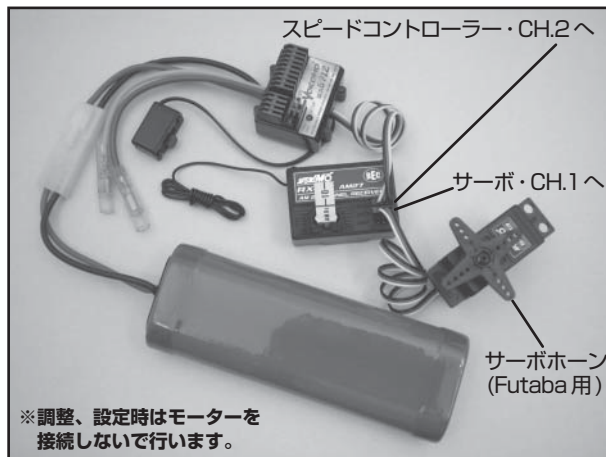
プロポに電池を入れ、スピードコントローラーにバッテリーを接続し、電源を入れた状態でプロポのステアリング、スロットルトリムを右の様にニュートラル位置に合わせます。この作業後、サーボホーンをキット付属の Futaba 用のものに組み替えてご使用下さい。

スピードコントローラーも同封されている説明書に従ってニュートラル、前後進の設定を行って下さい。

※こんな時は…

バッテリーを接続しても作動しない場合は、10～15 分程度充電してから行って下さい。

トリガーを引いたらサーボが動いたなど、プロポの操作とメカの作動が異なる場合は受信機のコネクト部分を確認して下さい。(写真参照)



ST (ステアリング)、TH (スロットル) 各トリムの作動範囲の中間がニュートラル (中立) になります。

◆キット組立て説明書 P.24 と照し合わせてご覧ください。◆

RCメカの搭載例

スピードコントローラーが大容量タイプのバック付のため大きく、キット組立て説明書の配置では受信機とスピードコントローラーは取り付けることが出来ませんので右の様に受信機はサーボの上に両面テープで固定して下さい。

スイッチも両面テープで固定します。

アンテナ線は、モーターコードやバッテリーコードと一緒に束ねない様にして下さい。誤作動の原因となりますので十分注意して下さい。



万が一お困りの点が有りましたら

株式会社ヨコモ アフターサービス部

TEL 03-5613-7553

FAX 03-5613-7552

E-Mail support@teamyokomo.com

までお問い合わせ下さい。

2005.04.21

SCR6712 取扱説明書(スピードコントローラー)

仕様

- ファンタッチセトアップ(押ボタン式)
- オーバー電流オーバーヒート保護機能付き
- 低内部抵抗
- ハイパワーモーター使用可能
- 前進/バック機能付き
- ブレーキング時のリチャージ機能付き

標準設定

- アンプの設定をおこないます。
- 受信機のチャンネル2(スロットル用)に接続します。
- 送信機と受信機のバンド(周波数)が合っているかどうか確認し、スロットルをニュートラルの状態です送信機のスイッチを入れます。
- 走行用バッテリーに接続し、電源スイッチをいれます。
- セトアップボタンをLEDが点滅するまで2秒押し続けます。
- スロットル前進一杯こし、バック側も一杯こし、ニュートラルにもどします。これで設定完了です。
- 付属のコンデンサーは、購入されたモーターにコンデンサーが付いている時は使用しません。
- モーターと接続するコネクタはグリーンがマイナス、イエローがプラスです

アドバイス:

- バッテリーの極性を間違えないよう、コネクタの向きに注意して接続して下さい。
- 正しく設定されていると、スロットルを前進一杯こした時、赤色のLEDが消灯します。
- ブレーキもかけられ、バック走行も可能です。前進側から直接バックすることがないよう、2秒のディレイがプログラムされています。
- LEDが赤色に点灯してもモーターが動かない場合は、過負荷による発熱で内蔵のヒートプロテクターがはたらき、故障を防ぐために動作を停止します。(ピニオンギヤを小さくしてください)温度が下がれば自動的に復帰し走行することができます。
- バック走行を連続で行うと、発熱の原因にもなります。連続走行は避けてください、モーターやアンプを冷やしてから走行するようにしてください。
- ゴム製リフトタイヤを使用する際はとくに負荷が大きくなりますので、ピニオンギヤをかなり小さめで使用してください。
- 走行していてノッキング現象(加速している最中にパワーが抜け前後にギクシャクする)が出たときはバッテリーの残量が無くなった時ですので、バッテリーを交換してください。

コネクタの選択

付属の受信機用コネクタが受信機と互換性があるかどうか確認して下さい。

フタバ、KOはそのまま使用できます。

サンワ、JR製受信機を使用する場合は、以下の手順で加工してください。

- ① 小型ドライバーなど先端の尖ったもので金属の爪を押し込み、コネクタからコードを引き抜けるようにします。
- ② コネクタからコードを抜き、金属の爪を上へ曲げます。
- ③ コードをコネクタの中に押し込んで下さい。
- ④ 配線は下の表と使用しているサーボのコードの色、を参考に間違えないように注意してください。
- ⑤ コネクタから横に出てくるミミをニッパー等で切り落とします。
- ⑥ 旧型の受信機を使用される方は、送信機の説明書をよく確認して配線をしてください。
- ⑦ 各メーカーのコードの色は以下ようになります。

	フタバ、KO	JR	サンワ
5V+	赤	赤	赤
マイナス	黒	茶	茶
信号	白	橙	橙

取り付け方法

- ① 可能な限りアンプはアンテナ線受信機から離れるよう搭載して下さい。しかし、モーターとバッテリーには届くように配線してください。
- ② クリーナー等でアンプのそことシャーシ面を洗淨して下さい。付属の両面テープを使用し、シャーシにしっかりと固定して下さい。
- ③ 付属のバッテリーコネクタを変える場合、バッテリーの極性を間違えないよう気をつけて下さい。

コンデンサーの取り付け

高周波のノイズをおさえるためにコンデンサー(0.1uF)をモーターにコシダ付して下さい。本器のようなリバース付アンプには、有極コンデンサー(47uF)やショックダイオードの付いているモーターは使用できません。ご使用になる場合は、必ずモーターから外して下さい。

注意

- アンプや電子部分は絶対に水に触れないようにしてください。
- ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読下さい。
- 走行後、アンプのヒートシンクは非常に熱くなります。直接手で触れないようにして下さい。
- ショートのおそれがありますので、ヒートシンクに配線や金属パーツなどが接触しないようにして下さい。
- 設定を行う時は車が動かないようスタンドの上へ固定し、タイヤやホイールが地面に触れないようにして下さい。
- ※ まれにスピードコントローラーのセトアップデータが、熱やクラッシュのショックで消える場合があります、その場合SCR6712取扱説明書の標準設定の手順を再度行ってください。